

学校教育目標と本校で育成を目指す資質・能力

学校教育目標

進んで学び 学びを深め 学びを活かす子ども

子どもが「学ぶ」ということは、「生活する」ことそのものを意味する。子どもは、様々な「人・もの・こと」との出会いに心動かされ、自ら関わる。繰り返し関わり、「人・もの・こと」及び自分自身への認識を深める。深まった認識を意欲や自信に変え、自らよりよい生活を創り出す。言い換えれば、本校ではまさに、「豊かに生きる子ども」の育成を目指している。

【知】 自ら見付けた課題について主体的に考え、粘り強く解決する力を育てます。	【徳】 自他の違いを認め合い、かけがえない存在として大切にすることを育てます。	【体】 健康に関わる習慣を身に付け、自他の心身を大切にすることを育てます。	【公】 まちに学び、まちから愛され、まちを愛する態度を育てます。	【開】 様々な「もの・こと・人」との出会いに学び、よりよい関係をつくる力を育てます。
--	---	---	--	--

育成を目指す資質・能力

自分づくりの力

「自分づくりの力」とは、「自分の生き方をつくり出す力」ととらえる。「自分の生き方をつくり出す」とは、「人・もの・こと」との出会いを大切に、「感じる・つくる」という営みを積み重ねることで、自分のよさや可能性に気づき、現在及び将来における自分自身の在り方に夢や希望をもち、前向きに「生きる」ことを意味する。

教育課程全体を通じて教科等横断的に育成を目指す「資質・能力」の
イメージ
 < 感じる・(考える) つくる・生きる >

